



バッチ連携モジュール設定方法

アジェンダ

01 概要

02 バッチ連携設定

03 バッチ連携モジュール実行

04 その他設定

05 設定変更後のバッチ連携モジュール反映

01 概要

eセールスマネージャーのデータ連携

eセールスマネージャーのデータ連携は、画面からのデータ連携とバッチ連携モジュールを使用したデータ連携の2パターンがございます。

今回はバッチ連携モジュールを使用したデータ連携を想定しております。

画面上のインポート/エクスポート機能を使用したデータ取込（以下画面はインポート）

ユーザ様に画面からデータ連携を行っていただきます。

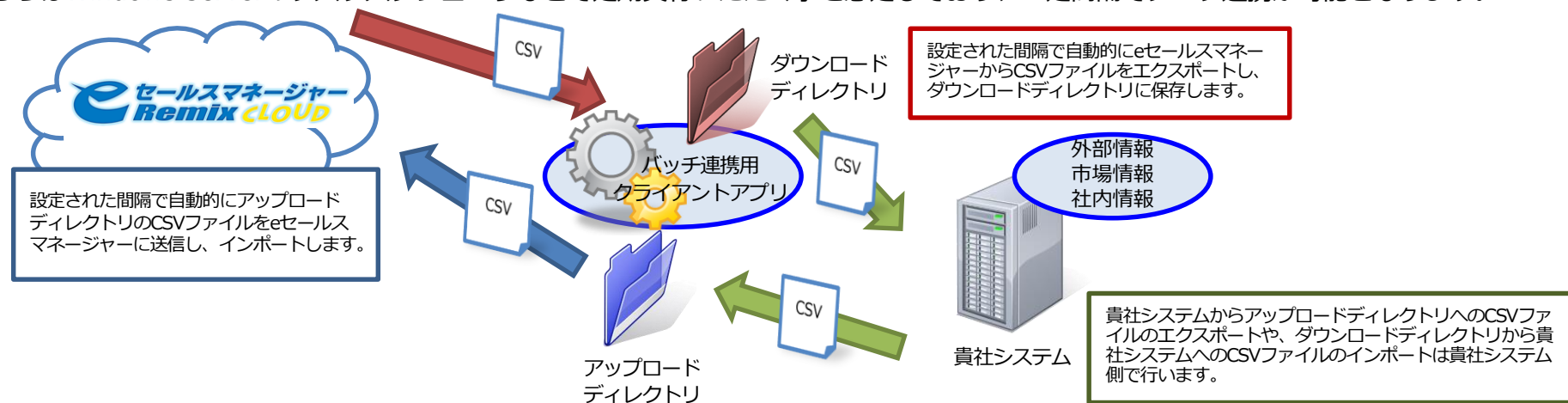
こちらの方法は、都度、ユーザ様に手動実行いただく必要があります。



バッチ連携モジュールを使用したデータ連携

バッチファイルを実行することで定期的にデータ連携を行います。

こちらはWindows Serverのタスクスケジューラなどで定期実行いただく事を想定しており、一定間隔でデータ連携が可能となります。



バッチ連携モジュール概要図

eセールスマネージャー



インポート条件
(条件名: importKey)

エクスポート条件
(条件名: exportKey)

1. 管理者ログインを行いバッチ連携モジュールの条件設定を行います。



ダウンロード

2. 管理者でバッチ連携モジュールをダウンロードします。

importKeyの条件設定した
インポート処理

import.batを実行すると、「import_files」内の
CSVファイルをインポートする命令を送信します。
インポート処理が完了すると「import_logs」へ
インポート結果ファイルを配置します。

exportKeyの条件設定した
インポート処理

export.batを実行すると、条件設定した
エクスポート処理を実行する命令を送信します。
エクスポート処理が完了すると「export_files」へ
CSVファイルを出力します。

バッチ連携モジュールを定期実行いただく場合、時刻設定は貴社システム内の
スケジューリング機能をご利用いただけます。

バッチ連携モジュールとeセールスマネージャー間の処理結果レポートを
自動保存します。

貴社システム



バッチ連携モジュール群一式
(filedispatch.zip)

3. ダウンロードしたバッチ連携モジュールを解凍します。



解凍したバッチ連携モジュール群一式

インポート条件フォルダ(importKey)

実行ファイル
(import.bat)

取込データ
格納用フォルダ
(import_files)

実行結果
出力先フォルダ
(import_logs)

エクスポート条件フォルダ(exportKey)

実行ファイル
(export.bat)

実行結果
出力先フォルダ
(export_files)



4. タスクスケジューラ等でバッチ連携の実行時間を設定します。

ユーザ様のhomeフォルダ

インポート処理レポート
(FileUploadLogging.log)

エクスポート処理レポート
(FileDownloadLogging.log)

バッチ連携モジュールの実現可否

・ 実現可

1. CSV形式ファイルを用いたインポート/エクスポート処理
※ 連携先がクラウド環境の場合、HTTP(S)通信によるファイル転送が可能
2. インポート/エクスポート処理結果のメール通知
3. タスクスケジューラを使用したインポート/エクスポート処理の実行時間設定
4. エクスポート処理の抽出条件および項目の設定
※ 各シートの検索画面で検索可能な条件に限り
5. インポート処理のマッチングキー項目による新規登録/更新の判定制御

・ 実現不可

1. インポート/エクスポート処理中のシステム停止
2. 日付フォーマットや、文字/数値型の指定桁での切り捨てなどの変換・加工処理
3. 改行付きデータのインポート/エクスポート処理
4. 顧客情報と案件情報や、案件情報と活動情報などの親子関係を更新するインポート処理
5. 物理削除や空データへの更新のインポート処理
※ 入力データが空白の場合はスキップ(何もしない)となります。
6. インポート機能で設定できないマッピング条件のインポート処理
7. 各シートの検索画面で設定できない検索条件のエクスポート処理
8. 対象シート以外の項目を出力するエクスポート処理

バッチ連携モジュールの注意事項

・ インポート

1. シート毎での処理となります。シートを跨ったインポートは対応しておりません。
2. マッチングキーを指定する必要があります。
3. 対象となるシートは、システム管理者で実行可能なシートのみとなります。
4. セレクト型・チェックボックス型の値は、事前に選択肢の設定を行っていただく必要があります。
5. CSVファイルの上限サイズはZIP圧縮50MB以下です。
6. マッチングの関係で対象シートの親となるシートの項目が必要な場合がございます。
※ 例えば、案件の場合、顧客の顧客名とマッチングキー項目が必要となります。
7. マッチングの関係で対象シートの親となるシートの項目が必要な場合、項目名にシート名を指定する必要があります。
※ 例えば、案件の案件名の場合「案件名（案件）」となります。
※ インポート前にCSV雛形ファイルをダウンロードし、インポートに必要な項目名をご確認ください。

・ エクスポート

1. シート毎での実行になります。シートを跨った出力は対応しておりません。
2. 対象となるシートは、システム管理者で実行可能なシートのみとなります。
3. 各シートの項目設定で「検索不可」としている項目は出力対象から外れます。
※ シートメンテナンス画面で検索欄を「使用可」にする事で出力対象となります。
4. パッケージ機能の関係で対象にしていない項目が出力される場合がございます。
※ 例えば、案件の場合、顧客名と案件名が冒頭に出力されます。

02 バッチ連携設定

バッチ連携モジュール設定①

管理者でログインし、システムの設定からセキュリティポリシーの変更を選択し、サブメニューのその他をクリックします。

セールスマネージャー
Remix

管理者 ヘルプ

検索

ホーム
シートの一覧と拡張
自社の設定
顧客の設定
営業プロセスの設定
アウトプットの設定
受付関連の設定
その他機能の設定
システムの設定
データのインポート
画面表示の雛形の設定
利用機能の制限
セキュリティポリシーの変更
環境設定
外部システムとの連携

セキュリティポリシーの変更 ログイン認証 参照編集権限 **その他**

設定したパスワードポリシーは、バッチ連携時の認証パスワード、および復号キーに適用されます。

バッチ連携のパスワードポリシー

パスワードの最小文字数チェック ☒ 有効 ☐ 無効
パスワードの最小文字数 8 文字

半角英字、半角数字、半角記号のうち2種類以上使用するように制限する ☒ 有効 ☐ 無効

全て同じ文字列でないことのチェック ☒ 有効 ☐ 無効

設定完了

VCARD APIのパスワードポリシー

パスワードの最小文字数チェック ☒ 有効 ☐ 無効
パスワードの最小文字数 8 文字

半角英字、半角数字、半角記号のうち2種類以上使用するように制限する ☒ 有効 ☐ 無効

設定したパスワードポリシーは、バッチ連携の「認証パスワード」および「復号キー」に適用されます

バッチ連携モジュール設定②

管理者でログインし、システムの設定から外部システムとの連携を選択し、サブメニューのバッチ連携をクリックします。

セールスマネージャー
Remix

管理者 ヘルプ

外部システムとの連携 URL API **バッチ連携** 名刺デジタル化 Googleカレンダー連携 LDAP SAML その他

基本設定

バッチ連携モジュールダウンロード

⚠ バッチ連携モジュールダウンロード後に、再度モジュールをダウンロードする場合は、設定画面を再表示してから実行して下さい。

バッチ連携使用可否 ☒ 使用可 ☐ 使用不可

アクセス許可IP 127.0.0.1

バッチ連携認証方式
☒ 管理者で設定した固定のパスワードを使用する
☐ 各ユーザのログインパスワードを使用する

認証パスワード (確認用) バッチ連携の認証パスワード

⚠ 変更する場合のみ、入力して下さい。

復号キー (確認用) 実行後のメール通知先です

⚠ 変更する場合のみ、入力して下さい。

通知メールアドレス

⚠ 複数の宛先を登録する場合は区切り文字に「;」を使用して下さい。

設定完了

バッチ連携モジュール設定③

システムの設定からURLの設定を選択し、バッチ連携-ファイルアップロードURLとバッチ連携-ファイルダウンロードURLを設定します。

URLの設定

URL設定

eセールスマネージャーのURLに関する設定のすべてを同時に変更できます。
これを設定することによって以下の機能に影響がでます。

- アカウント停止メール設定
- タイムラインお知らせメール設定
- 携帯関連設定
- バッチ連携設定
- PC版社外向けサービスURL
- 携帯版社外向けサービスURL

ご利用の環境のURLのコンテキスト名までをご入力ください。
(例)https://〇〇/△△/esales-pcのかたはhttps://〇〇/△△ までご入力ください。

環境のURL

詳細設定を表示

URLの設定

以下の項目が空欄の場合、「環境のURL」の値が反映されます。「環境のURL」が空欄の場合は値は反映されません。

アカウント停止メール	<input type="text"/> esales-pc
タイムラインお知らせメール (PC版)	<input type="text"/> esales-pc
タイムラインお知らせメール (スマートフォン版)	<input type="text"/> esales-bp
携帯電話版eセールスマネージャーRemixURL	<input type="text"/> esales-bp
バッチ連携-ファイルアップロードURL	<input type="text"/> esales-fud
バッチ連携-ファイルダウンロードURL	<input type="text"/> esales-fdd

バッチ連携モジュール設定④

項目名	説明
バッチ連携使用可否	バッチ連携機能を使用する場合はチェックをつけて下さい。
アクセス許可IP	指定したIPアドレス以外からのアクセスを制限します。クライアントモジュールを使用する端末のIPアドレスを入力して下さい。指定しない場合はIPアドレスの制限が行われません。
バッチ連携認証方式	クライアントモジュールを使用する際の認証に使用するパスワードを選択します。 Active Directoryとの連携を行っている場合は、「各ユーザのログインパスワードを使用する」は使用できません。
認証パスワード	バッチ連携認証方式を「管理者で設定した固定のパスワードを使用する」とした際に使用されるパスワードを入力します。 ※認証パスワードで設定可能な文字数や文字列のルール設定は管理者画面の[セキュリティポリシーの変更]の[その他]画面より設定可能です。
復号キー	クライアントモジュールとサーバー間で送受信されるファイルの暗号化・復号化に使用するキーを入力します。 ※復号キーで設定可能な文字数や文字列のルール設定は管理者画面の[セキュリティポリシーの変更]の[その他]画面より設定可能です。
通知メールアドレス	バッチ連携機能の処理完了やエラーを通知するメールの送信先メールアドレスを入力します。
ファイルアップロードURL	ご利用のeセールスマネージャーRemixのURLの末尾を「esales-fud」としたURLを入力して下さい。
ファイルダウンロードURL	ご利用のeセールスマネージャーRemixのURLの末尾を「esales-fdd」としたURLを入力して下さい。

インポート条件設定①

インポートを行うシートの選択を行います。

例えば：顧客情報をバッチ連携する場合は、顧客条件登録をクリックします。

※顧客に顧客情報を登録している場合

外部システムとの連携

URL API

バッチ連携

名刺デジタル化

Googleカレンダー連携

LDAP

SAML

その他

認証パスワード

(確認用)

社員条件登録

部署条件登録

共通グループ条件登録

顧客条件登録

案件条件登録

案件商品情報項目条件登録

案件売上条件登録

名刺条件登録

活動条件登録

活動商品情報項目条件登録

インポート条件設定登録

条件が登録されていません。

インポート条件は、インポートメニューと同じ内容のものが選択可能です

インポート条件設定②

顧客インポート条件設定

・CSVファイルには顧客名列が必ず必要です。

・自社担当者および主担当者には社員の社員番号を指定して下さい。

・自社担当部署および主担当(自社担当部署)には部署の部署番号を指定して下さい。

① 顧客階層化を使用している環境では、

・インポート可能なCSVファイルサイズ

・参照権限のない顧客は新規登録されます。

・マップ参照権限がないユーザが住所を変更する場合

「インポートキー」には、一意となる名称を入力します
※後ほどバッチ連携モジュールのフォルダ名となります

インポートキー

Customer

エンコード

MS932 (日本語)

CSVファイル

CSVファイル雛形をダウンロード

顧客マッチングキー項目 (同一)

顧客コード

紐付型項目

・インポートする顧客情報に対して紐付を作成します。

・全体の処理に時間がかかります。

売上金額

選択しない

きっかり

選択しない

納品先

選択しない

新規データの処理

☒ 新規登録する ☐ 新規登録しない

既存データの処理

☐ 上書きする ☒ 上書きしない

日付フォーマット

2001-01-31

タイムライン自動投稿の処理

☐ 自動投稿をする ☒ 自動投稿をしない

インポートしたデータを顧客リストに登録

☐ 登録する --グループ選択-- ☐ 登録しない

インポートしたデータを案件リストに登録

☐ 登録する --グループ選択-- ☒ 登録しない

設定完了

インポートを行う際に使用する、マッチングキーの選択を行います
※標準で用意されている以外のマッチングキー候補は「文字型」のみとなります紐付型項目を紐づけるためのマッチングキーの選択を行います
※標準で用意されている以外のマッチングキー候補は「文字型」のみとなります

マッチングキーに該当しないレコードを新規登録するかスキップするかを判断します

マッチングキーに該当したレコードを上書きするかスキップするかを判断します

エクスポート条件設定①

エクスポートを行うシートを選択を行います。

例えば：案件情報をエクスポートを行う場合は、案件条件登録をクリックします。

※案件に案件情報を登録している場合

外部システムとの連携

URL API

バッチ連携

名刺デジタル化

Googleカレンダー連携

LDAP

SAML

その他

⚠ 変更する場合のみ、入力して下さい。

社員条件登録

部署条件登録

共通グループ条件登録

顧客条件登録

案件条件登録

案件売上条件登録

名刺条件登録

活動条件登録

商品条件登録

日報・週報ワークフロー条件登録

エクスポート条件設定…

の宛先を登録する場合は区切り文字に「;」を使用して下さい。

コード	新規データの処理	最終処理開始日時	最終処理終了日時	処理時間	最終処理ユーザ	最終処理ユーザIP	操作	バ
語	新規登録する						変更 削除	

⚠ 条件が登録されていません。

エクスポート条件設定②

「エクスポートキー」には、一意となる名称を入力します
※後ほどバッチ連携モジュールのフォルダ名となります

案件エクスポート条件設定

エクスポートキー	Anken	案件検索のお気に入り条件設定した条件が選択できます ※「エクスポート条件設定④」参照
お気に入り条件	なし	
顧客階層	<input type="checkbox"/> 階層ごとに出力的	顧客情報も出力する際に抽出を行うのかの選択を行います
エンコード	MS932 (日本語)	
顧客	<input type="checkbox"/> 出力する	
活動情報	活動なし	活動なし 最新の活動のみ 活動全て 案件に報告された、活動を出力するのかの選択をします
	<input type="checkbox"/> 商品ごとに出力的	
	一覧表示項目を変更	設定完了

活動の抽出結果を表示する際に商品ごとに活動を抽出するのか選択を行います

抽出項目の選択を行います
※「エクスポート条件設定③」参照

エクスポート条件設定③

エクスポートを行うシートの項目選択を行います。

こちらで設定した、表示項目がエクスポートデータで出力される項目となります。

セールスマネージャー
Remix

管理者 ヘルプ

外部システムとの連携

URL API バッチ連携 名刺デジタル化 Googleカレンダー連携 LDAP SAML その他

変更する場合のみ、入力して下さい。

案件エクスポート条件設定

通知メールアドレス

エクスポートキー Anken

お気に入り条件 なし

顧客階層 ☐ 階層ごとに出力する

エンコード MS932 (日本語)

顧客 ☐ 出力する

活動情報 活動なし ☐ 商品ごとに出力する

設定完了

一覧表示項目を変更

設定完了

条件が登録されていません。

項目一覧より出力したい項目を選択します

表示項目

顧客コード ×

案件コード ×

案件タイプ ×

商品コード ×

商品名 ×

進捗状況 ×

受注 (予定) 日 ×

受注 (予定) 金額 ×

仕入 (予定) 金額 ×

粗利 (見込) 金額 ×

継続/終了 ×

主担当 ×

項目一覧

顧客

案件

案件コード

案件タイプ

新規/リピート

進捗状況

代理店

受注 (予定) 日

受注 (予定) 金額

粗利 (見込) 金額

保守契約終了日

リンク

BS仮登録

キャンペーン (SMP)

最新活動内容

商品名

納品 (予定) 日

仕入 (予定) 金額

保守契約開始日

窓口氏名

一括で追加

一括で追加

設定完了

エクスポート条件設定④

管理者検索画面にて、お気に入り条件を設定している場合、その設定を利用することができます。

The image shows two overlapping screenshots of a web application's case search interface. The top screenshot shows the main search page with tabs for '案件' (Cases), '案件リスト' (Case List), and '案件検索' (Case Search). The '案件検索' tab is active, and the 'お気に入り条件' (Favorite Conditions) button is highlighted with a red box. The bottom screenshot shows the 'お気に入り条件' (Favorite Conditions) tab selected, displaying a list of saved search conditions. The '案件エクスポート用' (For Case Export) button is highlighted with a red box. A yellow callout box points to this button with the text: '管理者の検索画面にて設定したお気に入り条件を選択することも可能です' (It is also possible to select favorite conditions set in the administrator's search screen).

案件検索画面の「お気に入り条件」タブが選択されている状態を示しています。このタブでは、検索条件を保存し、再利用することが可能です。

画面下部には「案件エクスポート用」のボタンが確認できます。このボタンをクリックすると、設定したお気に入り条件に基づいて案件をエクスポートできます。

バッチ連携モジュールのダウンロード①

「バッチ連携モジュールダウンロード」をクリックします。
ファイルのダウンロードを行い、ファイルの解凍を行います。

The screenshot shows the 'eSales Manager Remix' web interface. The sidebar on the left contains various settings categories. The main content area is titled '基本設定' (Basic Settings) and includes a section for 'バッチ連携モジュールダウンロード' (Batch Link Module Download), which is highlighted with a red box. A yellow callout bubble points to this section, stating: 'バッチ連携モジュールがローカルフォルダへダウンロードされます' (The batch link module will be downloaded to the local folder).

Below the section title, there is a warning message: '▲ バッチ連携モジュールダウンロード後に、再度モジュールをダウンロードする場合は、設定画面を再表示してから実行して下さい。' (After downloading the batch link module, if you want to download it again, please re-display the settings screen and then execute).

The settings include:

- バッチ連携使用可否: ☒ 使用可 ☐ 使用不可
- アクセス許可IP: 127.0.0.1
- バッチ連携認証方式: ☒ 管理者で設定した固定のパスワードを使用する ☐ 各ユーザのログインパスワードを使用する
- 認証パスワード: [Input field] (確認用)
- 復号キー: [Input field] (確認用)
- 通知メールアドレス: [Input field]

There are two warning messages in red boxes:

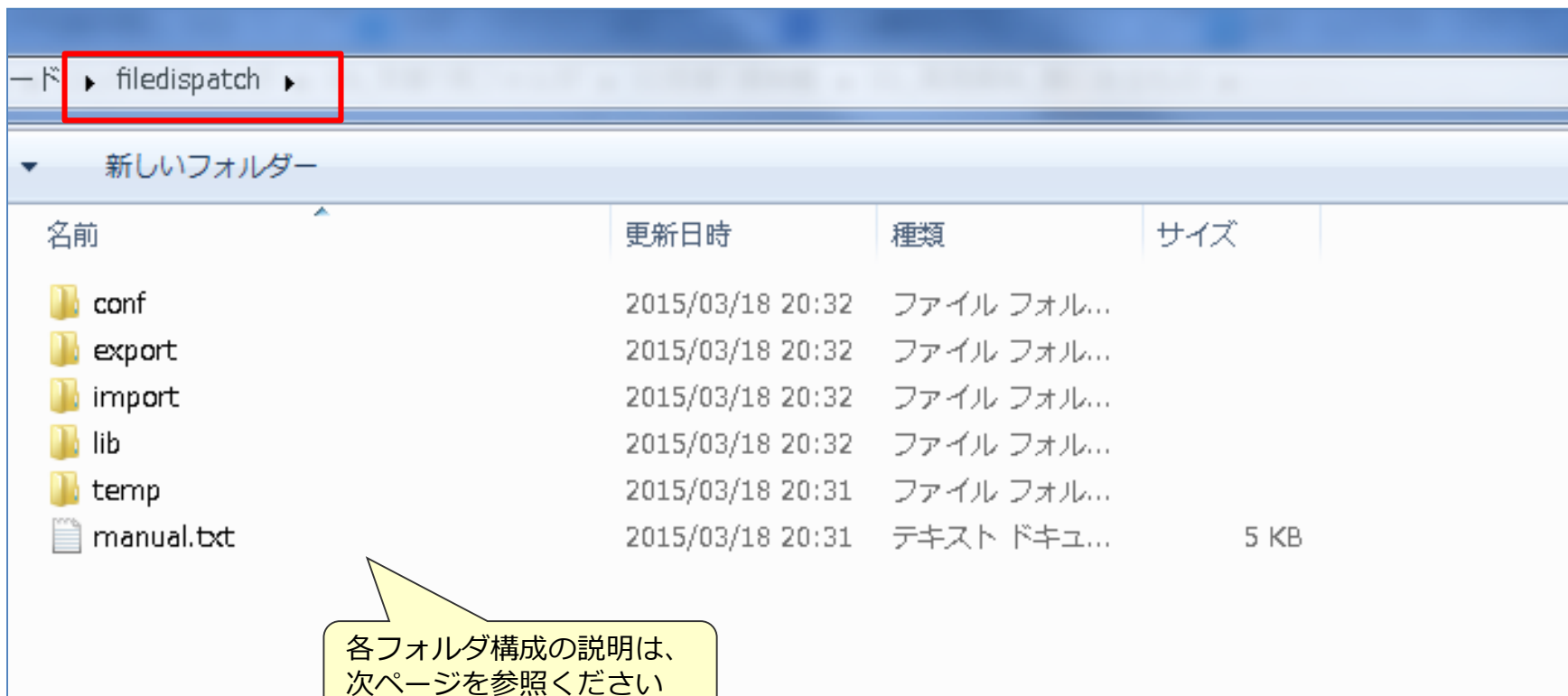
- ▲ 変更する場合のみ、入力して下さい。 (For changing only, please input.)
- ▲ 変更する場合のみ、入力して下さい。 (For changing only, please input.)

A yellow callout bubble points to the '復号キー' (Decryption Key) field, stating: '動作しなくなるため、スペースが含まれるフォルダ名では保存しないでください' (To prevent it from not working, please do not save with folder names containing spaces).

At the bottom, a file dialog is open, showing the path 'esmllearning.softbrain.co.jp から filedispatch.zip を開くか、または保存しますか?' (Open filedispatch.zip from esmllearning.softbrain.co.jp or save it?). The '保存(S)' (Save) button is highlighted with a red box.

バッチ連携モジュールのダウンロード②

バッチ連携モジュールをダウンロードし、zipファイルを展開すると、以下のようなフォルダ構成のファイルができあがります。



新しいフォルダー

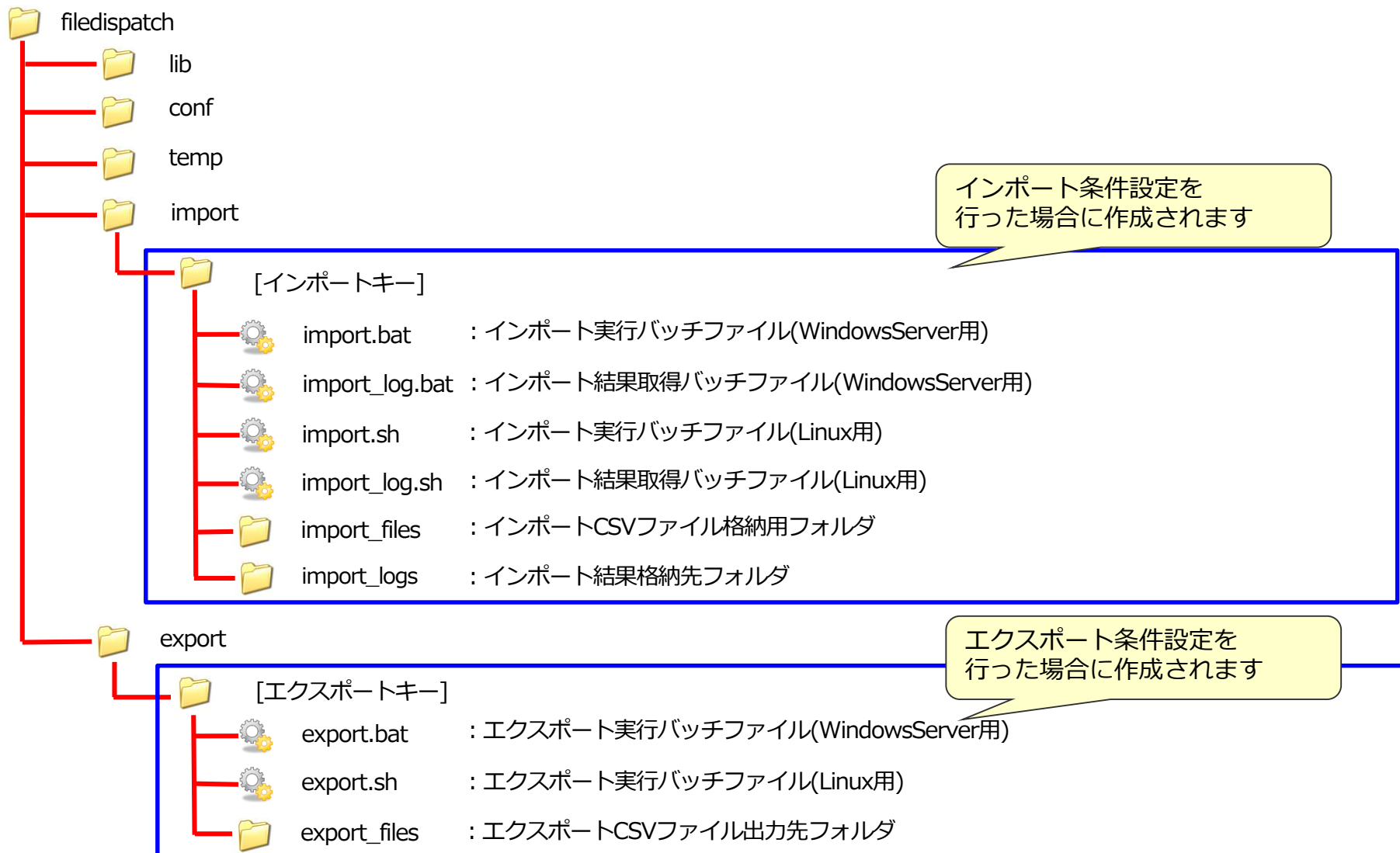
名前	更新日時	種類	サイズ
conf	2015/03/18 20:32	ファイル フォル...	
export	2015/03/18 20:32	ファイル フォル...	
import	2015/03/18 20:32	ファイル フォル...	
lib	2015/03/18 20:32	ファイル フォル...	
temp	2015/03/18 20:31	ファイル フォル...	
manual.txt	2015/03/18 20:31	テキスト ドキュ...	5 KB

各フォルダ構成の説明は、
次ページを参照ください

バッチ連携モジュールのダウンロード③

管理者で設定したインポート、エクスポート条件設定ごとにフォルダが作成されます。

※フォルダ名はインポートキー、エクスポートキーの名称となります。



03 バッチ連携モジュール実行

インポート①

Import→「インポートキー名」→import_filesにインポート対象のCSVファイルを格納します。

名前	更新日時	種類	サイズ
Customer	2012/05/29 16:50	ファイル フォル...	
import_files	2018/03/17 13:30	ファイル フォルダー	
import_logs	2018/03/17 13:30	ファイル フォルダー	

インポート条件で設定した、「インポートキー名」がフォルダ名になります

1ファイルあたりのサイズ上限はzip圧縮50MBとなります

Import→「インポートキー名」→import.batファイルを実行します。

※実行方法は、手動でダブルクリックないしはタスクスケジューラ設定で行います。

名前	更新日時	種類	サイズ
import_files	2018/03/17 13:30	ファイル フォルダー	
import_logs	2018/03/17 13:30	ファイル フォルダー	
import.bat			
import.sh			
import_log.bat	2018/03/17 18:00	Windows バッチ ...	1 KB
import_log.sh	2018/03/17 18:00	SH ファイル	1 KB

batファイル実行可能な環境はimport.batから
linuxディストリビューションなどのbatファイル実行不可な環境はimport.shを実行します

実行後、import_filesに格納されているCSVファイルがインポートされ、実行結果ファイルがimport_logsに格納されます。※インポート終了後、import_filesフォルダに格納したCSVファイルは自動削除されます。

名前	更新日時	種類	サイズ
import_files	2018/03/17 13:30	ファイル フォルダー	
import_logs			
import.bat			
import.sh			
import_log.bat	2018/03/17 18:00	Windows バッチ ...	1 KB
import_log.sh	2018/03/17 18:00	SH ファイル	1 KB
20180705140330	2018/07/05 14:04	ファイル フォルダー	
顧客情報.csv_CreateRecord.csv			1 KB
顧客情報.csv_CsvRecord.csv	2018/07/05 14:04	CSV ファイル	1 KB

実行年月日時分秒のフォルダが作成されます

実行結果ファイルが作成されます
※「インポート②」参照

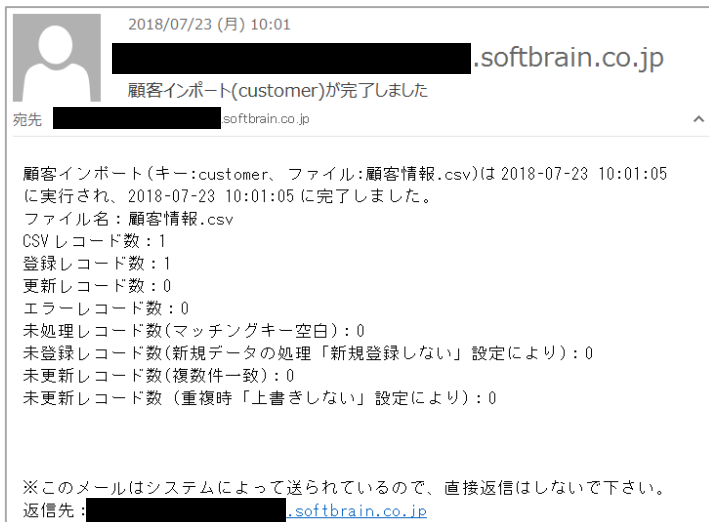
インポート②

インポートの結果ファイルは、実行結果により以下ファイルが出力されます。

No.	内容	ファイル末尾の文字列
1	CSVレコード	CsvRecord
2	エラーレコード	ErrorRecord
3	更新レコード	UpdateRecord
4	項目行エラー	ItemLineError
5	削除レコード	DeleteRecord
6	登録レコード	CreateRecord
7	未更新レコード（カスタマーシートが存在しない）	NonUpdateRecord_NoCs
8	未更新レコード（コミュニケーションシートが存在しない）	NonUpdateRecord_NoCms
9	未更新レコード（ビジネスシートが存在しない）	NonUpdateRecord_NoBs
10	未更新レコード（所属カテゴリが存在しない）	NonUpdateRecord_NoCategory
11	未更新レコード（商品がビジネスシート商品として指定されていない）	NonUpdateRecord_NoProductOnBs
12	未更新レコード（商品が存在しない）	NonUpdateRecord_NoProduct
13	未更新レコード(上書きしない)	NonUpdateRecord_NoUpdate
14	未更新レコード（同じ月の商品または合計値で同時指定ができない組み合わせが存在します）	NonUpdateRecord_IllegalRevDetailProduct
15	未更新レコード(複数件一致)	NonUpdateRecord_MultiHit
16	未更新レコード数(最新ではないレコードが一致)	NonUpdateRecord_MatchOldPS
17	未処理レコード(カスタマーシート複数件一致)	UnprocessRecord_CsMultiHit
18	未処理レコード(コミュニケーションシート複数件一致)	UnprocessRecord_CmsMultiHit
19	未処理レコード(ビジネスシート複数件一致)	UnprocessRecord_BsMultiHit
20	未処理レコード(マッチングキー空白)	UnprocessRecord_MatchNull
21	未処理レコード(商品複数件一致)	UnprocessRecord_ProductMultiHit
22	未登録レコード(新規登録しない)	UnregisterRecord_NoInsert

インポート③

バッチ連携モジュール設定①(P.9)で通知メールアドレスの設定を行った場合、インポート実施後にメール通知が送信されます。



No.	種別	内容
1	CSVレコード数	総処理レコード数
2	登録レコード数	新規登録されたレコード数
3	内コピーとしての登録	重複したデータがあったが、同じシートが作成された件数
4	更新レコード数	既存CSで更新されたレコード数重複時「上書き」の場合)
5	エラーレコード数	インポート/更新されなかったレコード数
6	未処理レコード数(マッチングキー空白)	マッチングキーが空白の為インポート/更新されなかったレコード数
7	未更新レコード数(複数件一致)	複数同一データが存在した為、更新されなかったレコード数
8	未更新レコード数(最新ではないレコードが一致)	マッチングの結果、最新ではないデータのため、インポートされなかった件数
9	未更新レコード数(重複時「上書きしない」設定により)	一致したデータがあったが、設定により更新しなかったレコード数

インポート④

複数のCSVファイルをインポート対象とし、そのうち一部のファイルでインポート失敗（※）となったものがあった場合、他のファイルのインポート処理は継続します。

インポートに失敗したファイルに関しては、処理終了後もimport_filesフォルダ内から削除されずに残ります。

（※）・・・ヘッダー行の不備などにより、そのファイルを処理できない場合

インポートの失敗に関するログはメール通知とコンソール上で出力します。

処理が完了した際、import_logsフォルダ内にインポート処理結果ファイルに加えて、下記のファイルを出力します。

No.	ファイル名	内容
1	importedFiles.log	インポートに成功したファイル名の一覧
2	errorFiles.log	インポートに失敗したファイル名の一覧
3	result.log	メール通知で送信される内容と同内容

エクスポート

export→「エクスポートキー名」→export.batファイルを実行します。

※実行方法は、手動でダブルクリックないしはタスクスケジューラ設定で行います。

名前	更新日時	種類	サイズ
Customer	2012/05/29 16:50	ファイル フォル...	
export_files	2018/03/19 16:44	ファイル フォルダ	
export.bat	2018/03/19 16:29	Windows バッチ ...	1 KB
export.sh	2018/03/19 16:29	UNIX ファイル	1 KB

エクスポート条件で設定した、「エクスポートキー名」がフォルダ名になります


batファイル実行可能な環境はexport.batから
Linuxディストリビューションなどのbatファイル実行不可な環境はexport.shを実行します

実行後、export_filesにエクスポートしたCSVファイルが格納されます。

export_files	2018/03/19 16:44	ファイル フォルダー	
export.bat	2018/03/19 16:29	Windows バッチ ...	1 KB
export.sh	2018/03/19 16:29	UNIX ファイル	1 KB
Customer_20180319164425.csv	2018/03/19 16:44	CSV ファイル	1 KB

バッチ連携モジュール設定①(P.9)で通知メールアドレスの設定を行った場合、エクスポート実施後にメール通知が送信されます。

2018/07/23 (月) 9:45

 [Redacted]@softbrain.co.jp

顧客エクスポート(customer)が完了しました

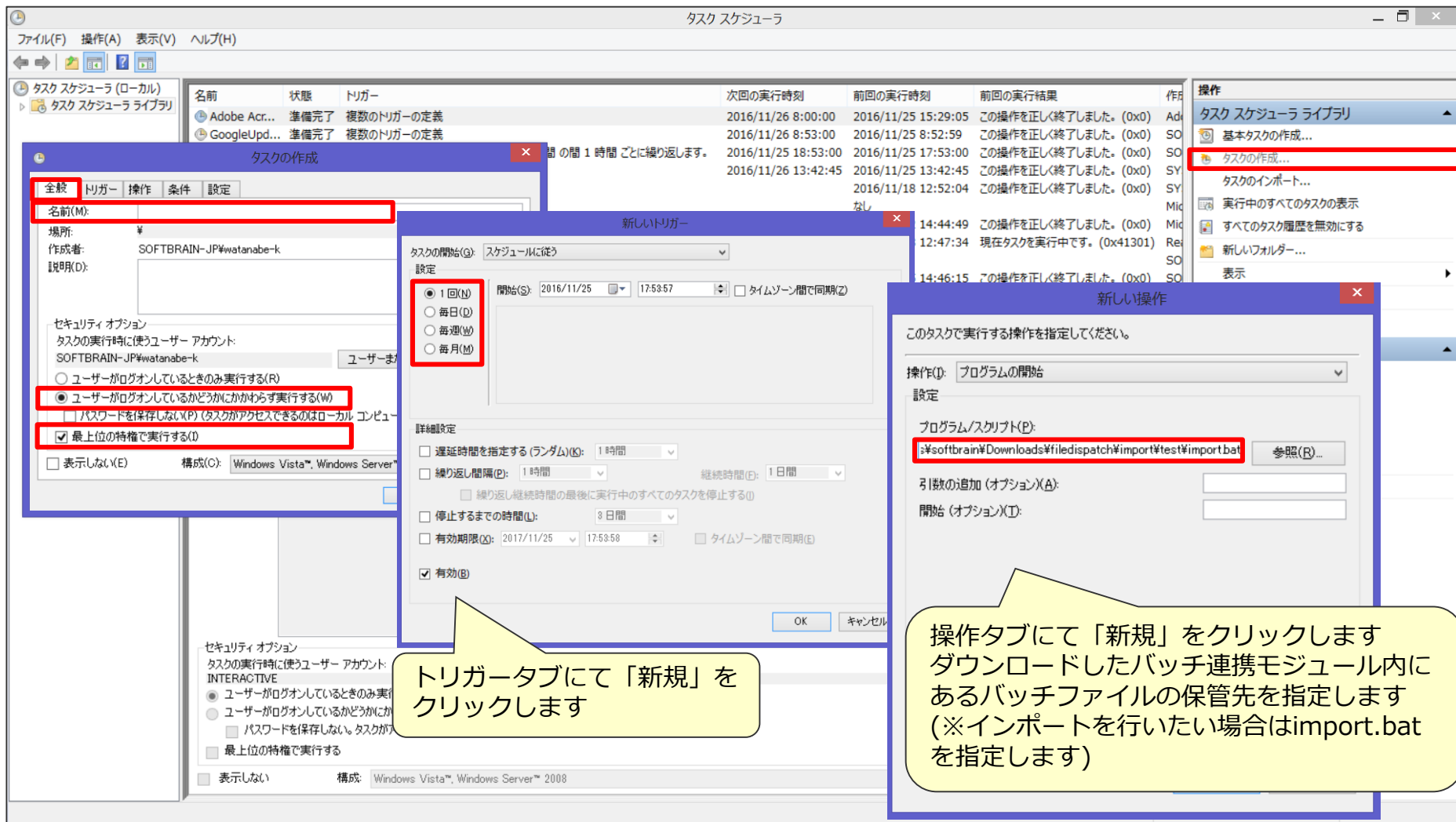
宛先 [Redacted]@softbrain.co.jp

顧客エクスポート(customer)は 2018-07-23 09:44:57 に実行され、2018-07-23 09:45:03 に完了しました
20271 件の顧客がエクスポートされました。

※このメールはシステムによって送られているので、直接返信はしないで下さい。
返信先: [Redacted]@softbrain.co.jp

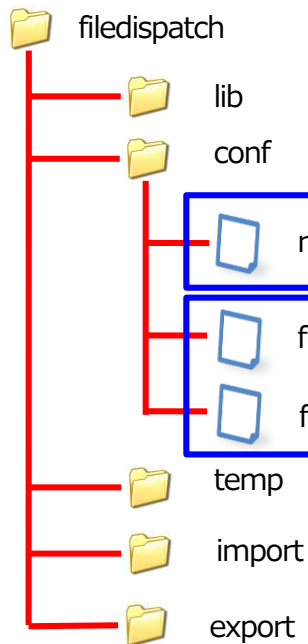
タスクスケジューラ設定(Windows Server)

スタート→タスクスケジューラ→タスクスケジューラライブラリ→タスクの作成を行います。
全般→トリガー→操作順で設定します。(※画像は一例です)



04 その他設定

設定概要



以下設定が可能です

- ・プロキシサーバ設定
- ・バッチ連携モジュール終了ステータス設定
- ・バッチ連携モジュール警告ステータス設定

resource.properties : クライアントモジュール設定ファイル

fileuploadlog.properties : アップロード処理の通信結果出力設定ファイル

filedownloadlog.properties : ダウンロード処理の通信結果出力設定ファイル

以下設定が可能です

- ・通信結果出力設定ファイル設定

プロキシサーバ設定

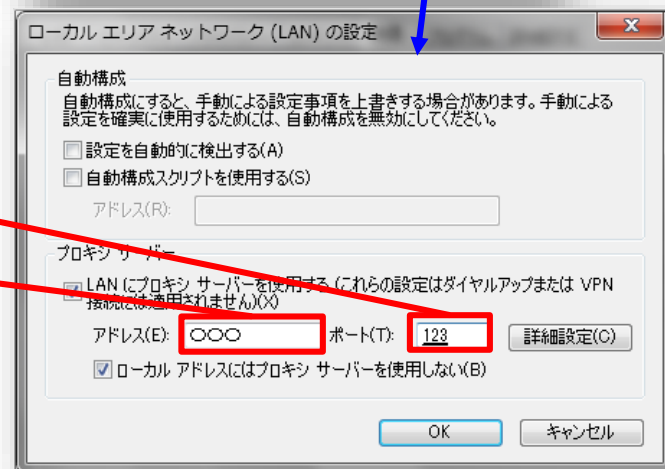
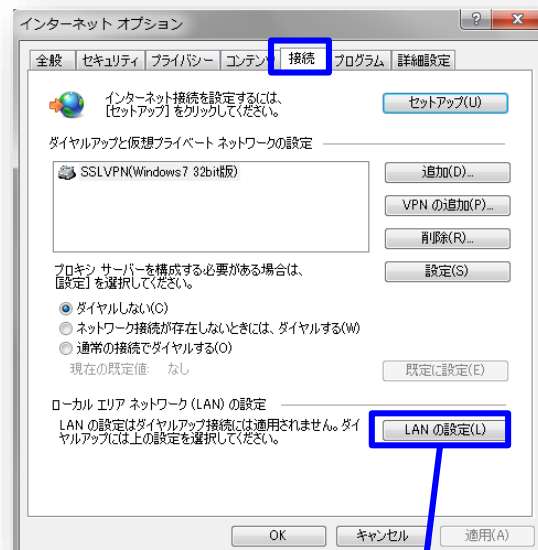
プロキシサーバ設定されている貴社環境からクラウド環境のeセールスマネージャーへ接続する場合など、プロキシサーバ設定が必要な場合はresource.propertiesのプロキシホストとポート番号の設定が必要となります。

※eセールスマネージャーのブラウザからは設定できません。

resource.properties

```
#Mon Jul 23 09:17:16 JST 2018
file_upload.warning.no_cms=false
file_upload.warning.error=false
file_upload.warning.no_product=false
proxy.password=
proxy.user=
file_upload.warning.no_product_on_bs=false
fileupload.file_secret_password=password
fileupload.auth_password=password
file_upload.warning.no_bs=false
max_retry_count=10
file_upload.warning.no_category=false
file_upload.warning.match_old_record=false
file_upload.warning.key_is_null=false
import.success.status=0
filedownload.url=http://$(AP_SERVER_NAME).softbrain.co.jp/$(CONTEXT)/esales-fdd
file_upload.warning.no_insert=false
file_upload.warning.no_cs=false
proxy.port=
fileupload.temporary.path=temp
file_upload.warning.multiple_hit=false
import.warning.status=2
import.err.status=1
proxy.host=
file_upload.warning.no_update=false
fileupload.thread.sleep_time=10000
file_upload.warning.illegal_rev_detail_product=false
fileupload.url=http://$(AP_SERVER_NAME).softbrain.co.jp/$(CONTEXT)/esales-fdd
```

インターネットオプション



バッチ連携モジュール終了ステータス設定

バッチ連携モジュールの終了ステータスを変更する場合、resource.propertiesのステータス設定が必要となります。※eセールスマネージャーのブラウザからは設定できません。

resource.properties

```
#Mon Jul 23 09:17:16 JST 2018
file_upload.warning.no_cms=false
file_upload.warning.error=false
file_upload.warning.no_product=false
proxy.password=
proxy.user=
file_upload.warning.no_product_on_bs=false
fileupload.file_secret_password=password
fileupload.auth_password=password
file_upload.warning.no_bs=false
max_retry_count=10
file_upload.warning.no_category=false
file_upload.warning.match_old_record=false
file_upload.warning.key_is_null=false
import.success.status=0
filedownload.url=http://$(AP_SERVER_NAME).softbrain.co.jp/$(CONTEXT)/esales-fdd
file_upload.warning.no_insert=false
file_upload.warning.no_cs=false
proxy.port=
fileupload.temporary.path=temp
file_upload.warning.multiple_hit=false
import.warning.status=2
import.err.status=1
```

正常 : import.success.status(デフォルト値 : 0)
異常 : import.err.status (デフォルト値 : 1)
警告 : import.warning.status (デフォルト値 : 2)

※import.err.statusを変更した場合、「import.bat」「import.sh」の変更が必要となります。

import.bat

```
@echo off
set PATH=%~dp0..%*.lib%jre1.8.0_144%bin
set JAVA_HOME=%~dp0..%*.lib%jreT.8.0_144

SETLOCAL
java -cp %~dp0..%*.lib%*;~dp0..%*.%; jp.co.softbrain.

if %errorlevel% == 1 exit /b

set impStatus=%errorlevel%

call %~dp0import_log.bat

if errorlevel 1 exit /b

del /q /s %~dp0import_files

exit /b %impStatus%
```

import.sh

```
java -cp ${BPM}lib/*:${BPM}: jp.co.softbrain.client.F

RET=?
if [ ${RET} -eq 1 ]; then
exit 1
fi

impStatus=$RET

${BASEDIR}/import_log.sh

RET=?
if [ ${RET} -eq 1 ]; then
exit 1
fi

rm -f ${BASEDIR}/import_files/*

exit $impStatus
```

例)
import.err.statusを「9」に変更した場合、
赤枠部分を「9」に変更する

バッチ連携モジュール警告ステータス設定

バッチ連携モジュールの警告ステータスを変更する場合、resource.propertiesのステータス設定が必要となります。**※eセールスマネージャーのブラウザからは設定できません。**

resource.properties

```
#Mon Jul 23 09:17:16 JST 2018
file_upload.warning.no_cms=false
file_upload.warning.error=false
file_upload.warning.no_product=false
proxy.password=
proxy.user=
file_upload.warning.no_product_on_bs=false
fileupload.file_secret_password=password
fileupload.auth_password=password
file_upload.warning.no_bs=false
max_retry_count=10
file_upload.warning.no_category=false
file_upload.warning.match_old_record=false
file_upload.warning.key_is_null=false
import success.status=0
filedownload.url=http%:/${(AP_SERVER_NAME)}.softbrain.co.jp/${(CONTEXT)}/esales-fdd
file_upload.warning.no_insert=false
file_upload.warning.no_cs=false
```

trueにすることで警告の対象にすることができます

No.	警告対象ステータス	意味
1	file_upload.warning.error	エラーレコード
2	file_upload.warning.illegal_rev_detail_product	未更新レコード（同じ月の商品または合計値で同時指定できない組合せが存在します）
3	file_upload.warning.key_is_null	未処理レコード（マッチングキー空白）
4	file_upload.warning.match_old_record	未更新レコード数（最新ではないレコードが一致）
5	file_upload.warning.multiple_hit	未更新レコード数（複数件一致）
6	file_upload.warning.no_bs	未更新レコード（ビジネスシートが存在しない）
7	file_upload.warning.no_category	未更新レコード（所属カテゴリが存在しない）
8	file_upload.warning.no_cms	未更新レコード（コミュニケーションシートが存在しない）
9	file_upload.warning.no_cs	未更新レコード（カスタマーシートが存在しない）
10	file_upload.warning.no_insert	未更新レコード（新規登録しない）
11	file_upload.warning.no_product	未更新レコード（商品が存在しない）
12	file_upload.warning.no_product_on_bs	未更新レコード（商品がビジネスシート商品として指定されてしない）
13	file_upload.warning.no_update	未更新レコード（上書きしない）

通信結果出力設定ファイル設定

インポートないしはエクスポートを実施した際のバッチ連携モジュールとeセールスマネージャーの通信結果を出力するロケーションを変更する場合、以下ファイルを変更する必要があります。

filedownloadlog.properties

```
handlers=java.util.logging.ConsoleHandler, java.util.logging.FileHandler
java.util.logging.ConsoleHandler.level=FINEST
java.util.logging.ConsoleHandler.formatter=java.util.logging.SimpleFormatter
java.util.logging.FileHandler.level=FINEST
java.util.logging.FileHandler.pattern=%h/FileDownloadLogging%u.%g.log
java.util.logging.FileHandler.formatter=java.util.logging.SimpleFormatter
java.util.logging.FileHandler.append=true
java.util.logging.FileHandler.limit=102400000
java.util.logging.FileHandler.count=20
```

fileuploadlog.properties

```
handlers=java.util.logging.ConsoleHandler, java.util.logging.FileHandler
java.util.logging.ConsoleHandler.level=FINEST
java.util.logging.ConsoleHandler.formatter=java.util.logging.SimpleFormatter
java.util.logging.FileHandler.level=FINEST
java.util.logging.FileHandler.pattern=%h/FileUploadLogging%u.%g.log
java.util.logging.FileHandler.formatter=java.util.logging.SimpleFormatter
java.util.logging.FileHandler.append=true
java.util.logging.FileHandler.limit=102400000
java.util.logging.FileHandler.count=20
```

「%h」「%u」「%g」はプログラム上の特殊フィールドとなります

%h : user.homeのシステムプロパティの値

%u : 重複を解決する一意の番号

%g : ログのローテーションを識別する生成番号

※java.util.loggingのFileHandlerに準拠

※参考：通信結果出力ファイルイメージ

```
2016/03/02 17:17:41 jp.co.softbrain.client.FileUploadModule main
情報: FileUploadModule start.
2016/03/02 17:17:42 jp.co.softbrain.client.FileUploadModule main
情報: FileUploadModule process interrupted by following error: 500 Internal Server Error
2016/03/02 17:21:48 jp.co.softbrain.client.FileUploadModule main
情報: FileUploadModule start.
2016/03/02 17:21:55 jp.co.softbrain.client.FileUploadModule main
情報: 読み込み件数: 1件
読み込み成功件数: 0件
読み込み失敗件数: 1件
名刺画像エラー取り込み件数: 0件
CSVファイル読み込み失敗ファイル数: 0件

localtest_sjis_tab.csv 2行目 内線番号のフォーマットが不正です。
2016/03/02 17:21:55 jp.co.softbrain.client.FileUploadModule main
情報: FileUploadModule end.
```

05 設定変更後のバッチ連携モジュール反映作業

バッチ連携モジュール設定変更

バッチ連携モジュールダウンロード後、eセールスマネージャーのバッチ連携モジュール設定を変更した場合はresource.propertiesに対しても変更が必要な場合があります。

resource.properties

```
#Mon Jul 23 09:17:16 JST 2018
file_upload.warning.no_cms=false
file_upload.warning.error=false
file_upload.warning.no_product=false
proxy.password=
proxy.user=
file_upload.warning.no_product_on_bs=false
fileupload.file_secret_password=password
fileupload.auth_password=password
file_upload.warning.no_bs=false
max_retry_count=10
file_upload.warning.no_category=false
file_upload.warning.match_old_record=false
file_upload.warning.key_is_null=false
import_success_status=0
filedownload.url=http¥://$(AP_SERVER_NAME).softbrain.co.jp/$(CONTEXT)/esales-fdd
file_upload.warning.no_insert=false
file_upload.warning.no_cs=false
proxy.port=
fileupload.temporary.path=temp
file_upload.warning.multiple_hit=false
import.warning.status=2
import.err.status=1
proxy.host=
file_upload.warning.no_update=false
fileupload.thread.sleep_time=10000
file_upload.warning.illegal_rev_detail_product=false
fileupload.url=http¥://$(AP_SERVER_NAME).softbrain.co.jp/$(CONTEXT)/esales-fud
```

複合キー : fileupload.file_secret_password
認証パスワード : fileupload.auth_password

ファイルアップロードURL : fileupload.url

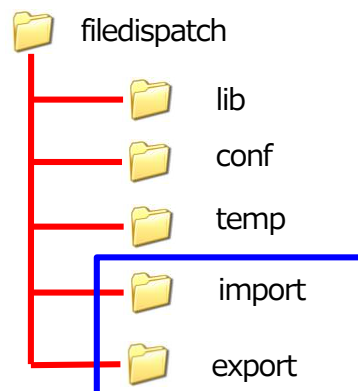
ファイルダウンロードURL : filedownload.url

インポートキー／エクスポートキー追加

バッチ連携モジュールダウンロード後、eセールスマネージャーのインポートキー／エクスポートキーを追加した場合は、バッチ連携モジュール内のimportないしはexportフォルダへバッチファイルを追加する必要があります。

インポート条件設定										
インポート条件設定登録 ▼										
シート名	インポートキー	エンコード	新規データの処理	最終処理開始日時	最終処理終了日時	処理時間	最終処理ユーザ	最終処理ユーザIP	操作	バッチファイル
案件	Anken	日本語	新規登録する						変更 削除	ダウンロード
顧客	Customer	日本語	新規登録する						変更 削除	ダウンロード

追加したインポートキー／エクスポートキーの右側にあるダウンロードでバッチファイルをダウンロードします



追加したインポートキー／エクスポートキーのバッチファイルフォルダをimportないしはexportフォルダに格納します

Customer	2018/07/23 9:17	ファイル フォルダー
Anken	2018/07/26 13:26	ファイル フォルダー

活用支援サイトのご紹介

eセールスマネージャーの操作説明/動画、活用事例等、業務に有効な情報集めております。是非、チェックしてください！

 活用支援サイト

サイトマップよくある質問問い合わせ

キーワードから探す

検索

詳細検索

 お知らせ

2022/06/27

活用支援サイトTOPページの一部リニューアルのお知らせ

NEW

>

2022/06/21

新規のユーザーセミナー動画を公開致しました。

NEW

>

2022/06/16

2022年7月ユーザーセミナー・研修のお知らせ

NEW

>

2022/06/15

活用支援サイト「サイトマップ」公開のお知らせ

NEW

>

2022/06/15

パッチ連携モジュール更新のお知らせ（2022/6/15 追記）

NEW

>

▶ 一覧を見る

 利用開始に向けて

 動画一覧

 セミナー

 操作マニュアル

▶ PDF版の操作マニュアルを見る

eセールスマネージャーの機能・操作のお困りごと

ログイン・パスワード

ログインできない

パスワードを忘れてしまった

自動でログアウトしてしまった

<https://www.e-sales-success.jp/guide/remix/web/index.html>

で検索下さい！

